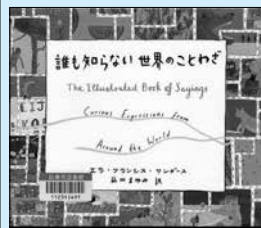


「生きている」の持ちかた



「誰も知らない世界のことわざ」  
エラ・フランシス・サンダース  
／著・イラスト  
前田 まゆみ／訳

「ロバにスポンジケーキ」「あなたのレバーをいただきます」… 世界には、こんなにも風変わりで美しい表現方法がたくさんある。世界のユニークなことわざや慣用句を51語集め、感性あふれる文と絵で紹介した一冊。エラ・フランシス・サンダース氏はライター、イラストレーター。



「生きもの 持ちかた」  
その道のプロに聞く  
松橋 利光／著

さわってみたら、かわいいよ！その道のプロが、カブトムシ、バッタなど、身近な虫たちから、イヌ、ヘビ、トカゲ、ワニまで、その正しい持ち方を伝授する本。生きものを無駄に傷つせず、持つ人間もケガしない持ち方がわかる。松橋利光氏は、水族館勤務ののち、生きものカメラマンに転身。著書に「日本のカエル」「ジンベエザメのはこびかた」「にわのかいじゅうファイル」などがある。



「トク盛り「名字」井」  
日本全国歩いた！調べた！  
高信 幸男／著

由来や歴史・地域性から、名字に秘められた意外な事実まで、膨大なデータと取材に裏打ちされた名字の雑学を紹介する。ほか、珍名さんエピソード、全国＆都道府県名字ランキング、名字クイズなども収録。高信幸男氏は1956年生まれ、茨城県出身。苗字研究家。司法書士。日本家系図学会会員。茨城民俗学会会員。日本作家クラブ会員。著書に「難読稀姓辞典」「名字歳時記」など。

4月の催しもの

とき	催しもの
5・12・19・26日(月)	午前11時～ あかちゃん絵本よみかかせ会
18日(日)	午前11時～ 午後2時～ 絵本とあそぼう ～タペストリーシアター・大型絵本・紙芝居・かんたん工作など～ ※各回4組(要予約) 4月1日(木)から図書館受付カウンターで予約受付
25日(日)	午前11時～ 午後3時～ 子ども工作教室 ※各回4組(要予約) 4月1日(木)から図書館受付カウンターで予約受付

◆展示会  
「めずらしい絵本展」  
4月10日(土)～4月25日(日) (図書館カウンター前)  
「子どもに人気の絵本展」  
4月10日(土)～4月25日(日)

その他の本

- ◆「ニッポンのサイズ図鑑～イラストでわかる～」  
石川 英輔／原作 淡交社編集部／編
- ◆「テツ語辞典～鉄道にまつわる言葉をイラストと豆知識でファン！と読み解く～」  
栗原 景／文 池田 邦彦／絵
- ◆「雑学の森～ハマる！ウケる！カシコくなる！～」  
雑学の森探険隊／編
- ◆「すし語辞典～寿司にまつわる言葉をイラストと豆知識でシャリッと読み解く～」  
新庄 綾子／著 藤原 昌高／監修
- ◆「すぐに役立つ366日記念日事典」上・下  
加瀬 清志／著 日本記念日協会／編
- ◆「1日1ページ、読むだけで身につく世界の教養365 現代編」  
デイヴィッド・S. キダー／著 ノア・D. オッペンハイム／著  
小林 朋則／訳
- ◆「面白くて眠れなくなる恐竜」  
平山 廉／著

俳句 「花霞」

山一つ 櫻かすみてまづ一献  
捨てかねし句に意を尽くす四月馬鹿  
待ちわぶる花咲く下の昼の宴

ふそう俳句会  
一色 無音  
市川 信子  
大脇 勝博

川柳

花垣の我が家笑顔のパラダイス  
巣籠りに訪問客は目白だけ  
願ひ事多すぎないか神の声

扶桑川柳クラブ  
飯田 重樹  
土屋 夢子  
石田 游多  
加

短歌 「四月馬鹿」

嘘ひとつつきたる吾を責めざりし  
祖父なつかしもけふ四月馬鹿  
花吹雪浴びて歩める山の道  
転ばぬ先と杖つきながら  
カラオケに「宗谷岬」を歌う午後  
買ったばかりの萌黄色の靴

ふそう短歌会  
和田 悦子  
鈴木 淑子  
村雲 たみえ

詩吟 「述懐」

処々に詩を尋ね又禅を問う  
雲煙万里去来の船  
白頭漸く識る壺中の楽しみ  
閑かに座し香を焚く古筆の前

長谷川 宥陽  
「意」 過ぎし我が人生を回顧するとすい分方々に詩人や史跡禅寺を訪ねた。遙かに雲と霞のたなびく朝鮮、満州、中国の果てまで船旅をしてきたが今思えば忽ち通り過ぎてしまったような気がする。齢八十才になり小天地であるが我が家の中に天地をしまいこみ、これを眺め、静かに香をたき古書をひもとく楽しみを知った。

正風流二代目家元 山内 正風